

# 都立国際高校 年間授業計画 / Tokyo Metropolitan Kokusai High School Course Syllabus

## ○ 科目基礎情報 ( Course information )

開講年度 ( Academic year )	令和7年度 ( 2025 年度 )
開講学科 ( Department )	国際学科 / Course of International Studies
教科 ( Subject Area )	国語
科目 ( Subject )	論理国語
担当者 ( Subject Teacher )	早川・松田・和田・奥村・櫻井
学年・クラス ( Grade・Class )	3学年
単位数 ( Number of units )	2単位
使用教科書 ( Text Books )	論理国語 (筑摩書房)
校外学習 ( Field trip )	

## ○ 教科の目標 ( Goals of the subject area )

<p>【知識及び技能】 ( Knowledge and Skills )          実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ( Ability to think, make judgements, express themselves )          「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ( Motivation to learn, Humanity )          言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。</p>
---

## ○ 科目の目標 ( Goals of the subject )

【知識及び技能】 ( Knowledge and Skills )	【思考力、判断力、表現力等】 ( Ability to think, make judgements, express themselves )	【学びに向かう力、人間性等】 ( Motivation to learn, Humanity )
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

## ○ 授業計画 ( Course schedule )

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	領域		評価規準 Evaluation Criteria	知 ①	思 ②	態 ③	配当 時数
			話・聞	書・読					
1学期 ( 1st semester )	「ことば」と、それをういた「語り」がいかに私たちを作り、ひいては世界を作っているかを再確認する。	「物語としての自己」	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「自己を物語る」という行為は現在の自分についての自己解釈であることを理解している。 ・「自己」は常に他社との関係の中で語られ、関係性の変化の度にその「自己」も変化することを理解している。 ・「自己」は「自己物語」の中しか存在しないことを理解している。	○	○	○	10
	定期考査 Examination					○	○		1
	筆者の経験をふまえつつ、戦後から続く日本社会の源流を論じる文章を論理的に読み取り、より視野を広げる。	「『である』ことと『する』こと」	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「である」と「する」という操作仮説をたてることで、日本社会のどのような特色が浮き彫りにされているか理解している。 ・対象領域の違いによって、「である」と「する」のもつ意味は、どのように変化するか、理解している。 筆者の相対的思考は、事物や思考を絶対化する判断様式とどのように区別されるか、考えをまとめることができる。	○	○	○	12
	定期考査 Examination					○	○	○	1

Allotted hours

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	領域			評価規準 Evaluation Criteria	知 ①	思 ②	態 ③	配当 時数
			話・聞	書	読					
2学期 (2nd semester)	ヒューマニズムのという長い射程を持つテーマに対し、論の進め方や文体の特徴を押さえ、その読解から得たものによって自分自身の考え方を深める。 これからの社会を生きるうえで対峙していかなければならない答えのない問いを自身に引きつけて考えるとともに、問われるべき課題を自ら見つけ出す批判的思考力を養う。	「虚ろなまなざし」 「トリアージ社会」	○	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代社会を生きる私たちが、無意識のうちにとってしまう態度や立場について、筆者が鋭く指摘していることを理解している。 ・現代社会の問題を、自分自身の問題として捉えさせ、また、自分なりの考えや主張をまとめることができる。 ・各意味段落で取り上げられた内容を正確に理解している。 ・キーワードの繋がりから段落相互の関係を把握している。 ・「近代／現代」の二項対立も意識して文章の全体像・筆者の主張を理解している。 ・「トリアージ社会」について、生徒自身の言葉で説明できる。	○	○	○	15
	定期考査 Examination		○	○	○					1
2学期 (2nd semester)	現在、「自由」はどのようなものとして変容しつつあるか考える。	「何のための自由か」	○	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・変化する社会において「幸福」や「自由」について具体的、現実的に考察できている。 ・キーワードやそれと対比される語句との関係を整理し、論の展開を把握できている。 ・仮説のたて方や筆者の意図を理解できている。	○	○	○	15
	定期考査 Examination		○	○	○					1
3学期 (3rd semester)	民衆ひとりひとりの記憶に耳を澄ます文章から「〈私〉」という個人のあり方を考え、複眼的に世界と自己を見通す。	「『沖繩戦』を聞く」 (入試問題演習)	○	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者の語りから状況や心情をより具体的に想起することができる。 ・本文の構成、記述のありよう（本文における語りの配置や繰り返される内容）の位置づけや表現意図や効果を理解できる。 ・やわらかい文体で骨格の見えづらいつら本文から筆者の主張の要点をきちんと抽出できる。 ・筆者の他の文章と比較して本文理解を深め、聞く行為について深く考えることができる。	○	○	○	19
	定期考査 Examination									1

総授業時数 Total hours	76
----------------------	----